

たんばっ子！学びフェスタ



発行：たんばっ子！学びフェスタ実行委員会事務局

第11回開催に向けてたんばっ子！学びフェスタの振り返りと展望

「たんばっ子！学びフェスタ」は、平成23年度の開始以来、実質12年間にわたり丹波地域の子どもたちが「学ぶ楽しさ」や「仲間と切磋琢磨する体験」を通じて、学習への意欲を高めることを目的とし、そして、将来の丹波地域を支える人づくり丹波地域の子どもたちの学力向上と人づくりに取り組んできました。第10回を終えた節目に、事務局では過去の取組を総括し、今後の方向性を整理しました。

【たんばっ子！学びフェスタの変遷と今後の方向性について】



○「第11回たんばっ子！学びフェスタ」の実施について～第1回実行委員会(令和5年6月7日)

今後、子どもたちに必要な「5つの力(自ら学ぶ力 課題を発見する力 表現する力 新しいものを創り出す力 人とつながる力)」の育成を目指し、以下の3つの取組を継続・発展させて実施する方針が示されました。

これらを踏まえ、令和5年度の「第11回たんばっ子！学びフェスタ」は、「チャレンジQ」「体験型ワークショップ」「オンラインチャレンジQ」の3本柱を中心に、特に、チャレンジQでは論理的思考力や情報活用能力を問う問題を充実させ、体験型ワークショップではVRやドローン操作など、子どもたちの創造力を刺激する内容を提供することとしました。

さらに、多様な分野の体験を取り入れ、子どもたちの興味・関心を広げるとともに、地域の人材や資源を活用した学びの場づくりを進めていくこととしました。

【第11回たんばっ子！学びフェスタ 案内チラシ】

第11回 たんばっ子！学びフェスタ

オンラインチャレンジQ
★小学1～6年生が参加できるよ。
★今年はなんと海外の日本人学校と丹波地区を、オンラインでつなげるよ！
★海外に住む日本人の子どもたちと一緒に、楽しく交流しよう！

おはしきのチャレンジQ
★楽しく考えられる問題がたくさんあるよ！
★友だちやお家の人と一緒に解くのもOK！
★抽選で素敵なプレゼントもあるよ！

2023年 11月23日(木・祝)
(13:00～16:00)

場所:丹波篠山市立四季の森生涯学習センター
(〒669-2205 丹波篠山市構浜429)

みんなの参加を待ってるよ♪

体験型ワークショップ
★当日の参加は自由だよ！
★普段ではなかなか体験できないようなイベントがたくさんあるよ！
・eスポーツ・VR体験
・起業車による地震体験
・ドローンの操縦
などなど、色んな体験をしてみよう！(予定が変更になる場合があります)

「チャレンジQ」オンラインチャレンジQの詳しい説明は、クラ函面をチェック

主催・指導支援:たんばっ子！学びフェスタ実行委員会

チャレンジQについて
チャレンジQについて
いつからスタート？
どうやって問題を解くの？
問題を解いたらどうするの？
問い合わせ先
丹波篠山市立四季の森生涯学習センター事務局
〒669-2341 丹波篠山市都留451-2 高橋農業組合事務所内
TEL:079-552-7481 FAX:079-552-6034 E-mail:itimbobpref.hyo@ipr.jp
URL:<https://www.hyogo-eid.jp/~tanbo-bo/>

オンラインチャレンジQについて
どんなことをするの？
申し込みについて(参加方法)
申込期間は今和6年11月24日(金)～11月28日(火)まで。
申込期間は10月13日(金)～11月10日(木)まで。
参加者の中から抽選で5人に幸運なプレゼントもあら。

大丈夫！チャレンジQにも参加できるから、どんどん応募してね！

11/23(木・祝) 当日のタイムスケジュール
13:00～16:00 体験型ワークショップ
14:30～16:00 オンラインチャレンジQ

※「チャレンジQ」は、11/24(金)から問題を配信します。

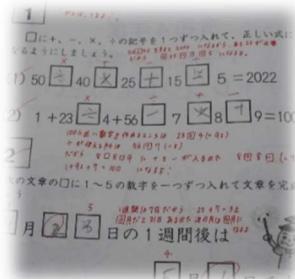
○チャレンジQについて「丹波地域在住の小学生向け企画！」

国語・算数を中心に、各学年に合わせた内容で、知識だけでなく思考力を問う試す問題。(時間制限なし)。丹波教育事務所ホームページから「チャレンジQ」の問題をダウンロードし、印刷してチャレンジ。チャレンジした問題の解答は、郵送・FAX・持参・メールのいずれかで提出OK。応募された解答は、県立高校生が丁寧に添削し、メッセージを添えて返送しました。

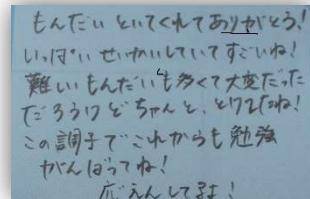
応募者の中から抽選で30名に、県立高校生による手づくりプレゼントを贈呈しました。



高校生の手づくりプレゼント！



高校生による添削！



メッセージを添えて

○オンラインチャレンジQについて

丹波地域の子どもたちが、クアラルンプール、テヘランの子どもたちとオンラインで交流しながら、地域の魅力や世界の課題について学び、未来に向けた宣言を作成する活動です。

この活動では、子どもたちが将来の夢や理想の社会を考え、共同編集可能なアプリを活用して意見を共有しました。地域の良さを再認識するとともに、SDGsの視点から食料、環境、情報格差、平和などの課題について理解を深めました。

最終的に、児童は「たんばっ子！学びフェスタ宣言」として、自分たちが目指す未来像を言葉にまとめました。



○体験型ワークショップについて

子どもたちが多様な体験活動を通じて、創造力・探究心・地域理解を深めることを目的とした学びの場が提供されました。おもな活動には、プログラミングによるドローン操作やVR・eスポーツ体験など、ICTを活用した先進的な学びのほか、芝人形づくり、スーパーボールづくり、フェルトマスコット制作などのものづくり体験が展開されました。

また、オリジナル時計制作や農産物販売など、丹波地域の高校と連携した体験活動も実施され、地域とのつながりを感じる貴重な機会となりました。

さらに、篠山東雲高校による「しののめふれあい動物園」では、生き物とのふれあいを通じて命の大切さを学び、バルーンアートなど、子どもたちの興味・関心を引き出す多彩なプログラムが展開されました。



魚調理体験



ふれあい動物園



フェルトマスコット



オリジナル時計制作



芝人形づくり



ドローン操作



バルーンアート



起震車体験

○「第11回たんばっ子！学びフェスタ」を振り返って～第5回実行委員会(令和6年3月5日)

令和5年度の「たんばっ子！学びフェスタ」は、4年ぶりにイベント形式で開催され、地域や世界とつながる学びの場として、多くの児童が積極的に参加しました。

実行委員や関係者の協力のもと、全プログラムを円滑に実施することができました。

[チャレンジQ](#)では、高校生が小学生に向けてメッセージを作成するなど、思いやりと創造性を発揮する場面が多く見られました。参加しやすい企画として好評でした。

[オンラインチャレンジQ](#)では、海外の児童との交流を通じて国際的な視野を広げることができ、ICTを活用した新しい学びの形として高く評価されました。一方で、会場の導線やアンケートの実施、ディスカッション力の育成など、改善すべき点も見られました。

[体験型ワークショップ](#)では、高校生が運営に主体的に関わり、小学生との交流を通じて互いに成長する姿が見られました。一方で、休憩時間の確保やボランティアへの配慮、運営面での課題も共有されました。

全体を通して、参加者数の増加に向けた工夫や、会場環境の整備、雨天時の対応、ネット環境の確保など、次年度に向けた具体的な改善提案が出されました。

加えて、兵庫県の新規事業「ひょうご教育の日」制定記念事業との連携も視野に入れ、地域教育イベントとして、より充実した学びの機会を提供できるよう努めてまいります。